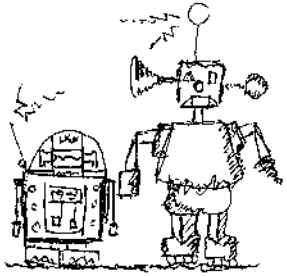
TOWN INFORMATION MAGAZINE

ふいえすた・小樽

3

¥200

たかが32ページの雑誌じゃ
ないかって東京人が言うなら
300ページの雑誌よりも32ページの
雑誌の方が“あったかい”んだって
小樽人は言うだろう！
そこで全32ページの目次です



寄稿

小樽運河　金子誠治 ・・・・ 7
僕にとっての小樽
　戦後入植者の弁　山口保 ・・・・ 8
「飯田・小樽運河地区
公園化構想」批判　駒木定正 ・・ 11
当世高校生気質　伊藤薫 ・・・・ 14
ポンポン船　中一夫 ・・・・ 15

目次，第3号名言集 ・・ 1
旅に出よう「浄瑠璃寺」・・ 25
小樽の街を歩くときの生活情報
インフォメーション・・・・・ 26
ピック・アップス・・・・・ 30
まち・みせ・味・・・・・・ 31
肉弾直撃
編集後記・・・・・・・・・・・ 32

インタビュー
（話し手）末岡睦さん・・・ 4

ちょっと休憩・・・・・・・・・・ 16
エッチャンのお料理コーナー・・・ 19
手づくり「物を大切にしよう」・・ 20
レコード紹介・・・・・・・・・ 22
ブックス・・・・・・・・・・・・ 24

好評連載

八十円紀行「梅源線」・・・・ 2
ロシア珍道中・・・・・・・・・・・ 10
　その②怪人社長ロシア娘とモスクワの夜に去る
銭湯めぐり・・・・・・・・・・・ 18
　神彼湯の巻（初めての女湯です！）

あの人 この人　第3号名言集　あれこれ

通学時間帯には東京の国電並みのラッシュでスカートが落ちそうになった女子学生もいるという……「八十円紀行P22」

「よくも残ってくれた！」という場所が小樽で……「インタビューP4」

海有り、山有り、ホラ有り、小樽は素晴らしい街だと言ったのは、歌画家の棟方志功か……「小樽運河P7」

さっそく、夜の街を、窓越しから入出まで、ソリとミニ・スキーで知り合いのお婆さんの家まで、布団を借りにでかけていったんだと思う

「僕にとっての小樽P8」

オレはあのTターシャが気にいったとうやら彼女もオンを気にいった様だし……　「ロシア珍道中P10」

本来、小樽市当局は、「運河を名もない建物群」を「小樽市の固有の歴史的遺産」などと発言できる資格は、行政側としてないのである

「飯田・小樽運河地区公園化構想」批判P11」

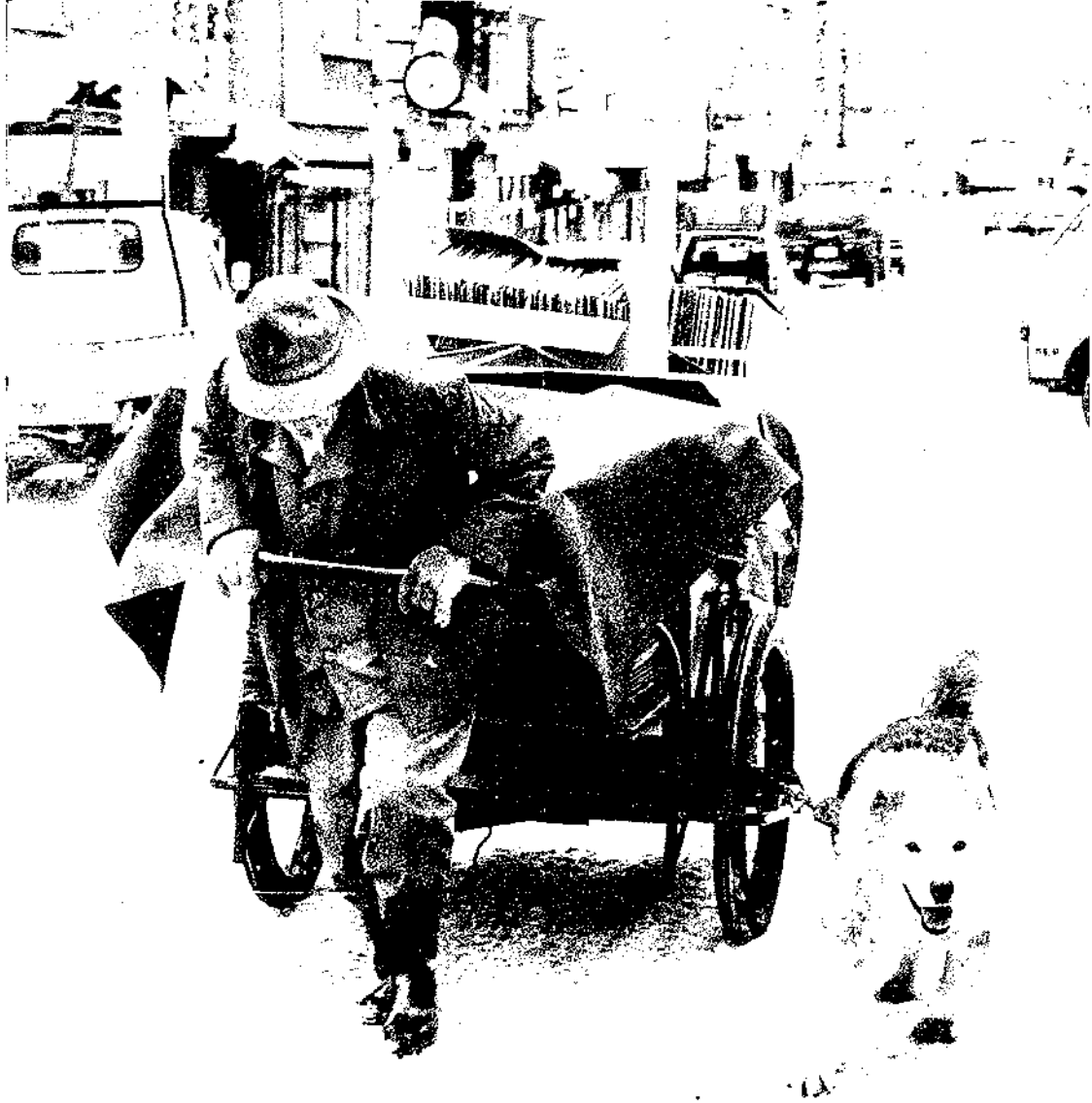
青春は素晴らしいもんだよ　なんて言いますが、女性にモテない男にはどうもピンとこないんです

「当世高校生気質P14」

僕は生粋の小樽っ子だから、どんなに頑張っても小樽の本当のよさはわからないのかもしれない……「ポンポン船P15」

「ひとりで背中をこするのはたいへんですよね　と私もお返しにその人の背中をこすってあげました　「銭湯めぐりP18」

男と女の関係なんてもっと、どろどろしたもんだし……「今月の　人」P27」

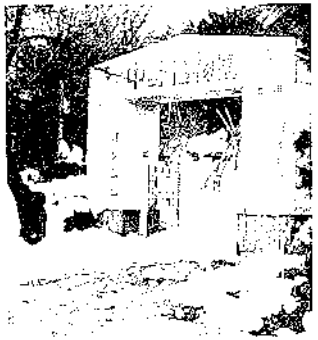


ねえ　おじさん
　　冬を持っていってくれませんか

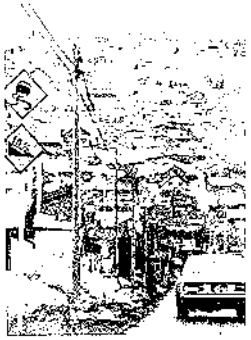
小樽・八十円紀行

梅源線

さあ、八十円紀行の取材だ　ところで、何を取材するんだい？　とたずねると、助手の千君言わく　アレ？　決めてないのッ？　ヤバイよ　そりゃ　そこで目の前を通ったバス　つまり今回の梅源線のバスを見た管者言わく　あれにしよう　理　決定して、管どけの　ぬかるみに春を感じつつ　手宮バスターミナルへ　ところで　このバス　さいと思わないかい？　千君言わく　あ凡変だな　ちょっと待てよ　ときつそく座席数を数え　とたりの後町行きのバスへ走る　戻って来るなりやっぱり正解　席すう少ないなあ　すかさず助手の管者　つまりだれ　この路線は　カーブが多く　しかも道が細いしたがって小回りのきくこのバスが便利きれてる訳　おわかりかナ



やっと直上に着き　北手宮小学校前　ここで乗り人も一服といった感じ　ここからは長い下り坂　そしてカーブ　カーブの連続　せまき　トコースの様なヘアピンカーブを回り中野植物園前



バスは急に左へ回った　ウワー　何だこの坂は！　ちなみに勾配10%の標識　そしてスリップ注意　エンジンかりなる　坂の街小樽と言われるから　これほどの坂道を通るバス路線はここくらいなものだろう　乗客は皆緊張してこんでいる　エンジンが息切れしそうだ　あと一歩　あと一歩と言う所のある　路面凍結する頃に乗ってくる人　たすけてと思い　もしここでスリップしたらドッキリ

植物園を過ぎているのは市内でここぐらいだろう　それも私営である　助手の千君言わく　かきの頃よく遊びに来たんだよナー　懐しそうに見ているが　多分悪さばかりしていたのだろう　しばらくすると　なぜスピードが　何かふっかった　道路沿いの木の枝である　それだけ道が狭くバス同士の交差もままならずどちらかが待っている　もし、

互いに強気の運転手同志だったら……ワナワナワナ　地団駄もできなかったと言理　によって道幅を広くしていると言に対　間で読んだことがある

清水中央　この辺に昔からの北海製　面の住宅がある　話しに聞いていたので見ていると　三角屋根の同じような家がいくつか並んでいる　ヤー　あれもそうかい？　と　助手君に言ったが　聞いても答えない　振ると言ったっきり　着た若い女性の方を見ている　たしか中野植物園からあなたは　先程バス停のことを聞かれていたようだが　それから寄ッと……　助手の人差を　読えたかと思っていると　また急な登り坂　前のほど長くないにしろ　それでも急配　人前である　感の登り坂へ　ドII　ともいうべき坂道　またもエンジンは息を切らしてエエエッっている　もし、ゼンソクのエンジンだったら……　くだらない発想　ヒンホン　桜潟高校ノ　ヤー　我が母校よ　と考える前に女子高生が乗ってくるソという考えが先ッた　助手の千君も心なしかエタエタしている　先にも述べたが　バスが小さいために通学時間帯には東京の国電並みのラッシュで　スカートが落ちそうになった女学生もいるという話しを聞いていたので　層助手の千君共々興味に胸ふくらませていたのだが……ナーんと　一人も乗ってこない　しかも　余分な男子学生までもが　同冷静に考えた結果　もう休みだという結論に達したのであります

桜潟高校下から長橋十字街まで　曲がりくねった下り坂　またまたここも道路は狭く　改めて坂道の小樽　道路の狭い小樽を認識したのである　道路沿いの電柱も心なしか外側を向いている　そうでもしなきゃ電柱ッ　ヒ　ヒ　ヒ　ふつかって走ることにもなりかねない　それでも結構スピードは出している　ウ　ヤ　ッ　ヒ　ヒ　ヒ　そう言えば　清水町行直から桜陽下　くらいまでの間には数多くの水産加工会社が軒を並べている　夏の暑い盛りには　ものすごい臭気で　高校時代には　いくら嗅いでも慣れず　ンーとかまんの子であった　今でもあの様な悪臭　なお悪いが流れているのだろうか

長橋十字街　細く曲がりくねった道　ともここでお別れ　やっと新の広い　国道5号線に出る　夏の海水浴シーズンとは桁ちがいのものにならないくらいスムーズな車の流れ　国鉄線とは平行に走る　ウー　あの普通列車　このバスを意識して張ッてやがるナー　助手の千君言わく　バカ　どうして　そしてこんな発想しかできないのッ　確かに列車の運転士の疑い深い視線が感じられたのだが……

砂塵付近から色内へと手宮に走る　この辺は珍しく渋滞となっていない　しかし、ここもどこかと同じく夏になると異臭を発生するようである

ところで、まだ三月上旬というのに道路は雪一つなく　本当に今年は暖冬だったんだなあ　と思いつつ　敷の底の感るのが気にかかる　セコイ　バスは色内十字街を右折　終点小樽駅前に向かう　ここに来て　やっと　この長い　わずかに十分たらずのバス旅行が終わりに近づくことを感じた

ところで　この電線は　路線に沿　埋設の路線がある　手宮ト小樽駅前　本局イ桜潟高校下　本局イ中野植物園前　これは　先にも述べたように　殖　陽に道路幅が狭くなる中野植物園ト桜陽高校下間をバスの本数を少なくし　安全を確保しようと　するものらしい

ヒンホン　次は小樽駅前……　とあっ降りるか　千君　八十円出　ておいて　降りた乗客は全部で十二人　運転手さん御苦労様

行きんも　通勤通学の時　車窓の流れる景色を見直してみたら　新しい発見があるかも

手づくりの店 手づくりの味

土蔵屋

とまこまい　大町旭館通り　でんわ36-0955

車の中は宴の余韻
カラオケ付き

尾崎タクシー

新光4－22－7
TEL　54－5394

日々うまい麺づくりに努力する

吉田製麺

豊川町2－4　☎22-5517（ここいーな）

岡本商店

やさい・くだもの

小樽入舟2－17

電話(33)2280

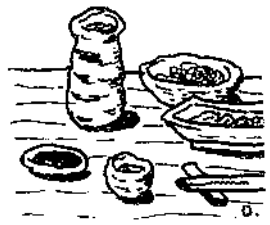
インタビュー

小樽は再び燃えるか

話し手　末岡　茂さん

語学「ナルホド」を経営するかたわら
観光協会の理事、小樽開発センター
の会員など、その他いろいろな方面
で活躍している万能ウーマンです

幸いにして昔のままで残ったのよ



編集　今日は末岡さんが運河保存問題や、観光開発の事を考えてらっしゃるという事でいろいろ話を聞きに来ました。末岡さんは昨月上旬に開かれた流波会議にオブザーバーとして出席されたそうですね。その会議の中で小樽の事が取り上げられたそうですが、どの様な事が話題に上ったのですか？

末岡さん　流波会議は文化とコミュニティという柱が立っていて、その中でいろいろなテーマが話し合われました。その一つに文化開発と経済開発というテーマがあって、歴史的保存の木造さんから小樽運河の報告がありました。「小樽の場合、水河の埋めという問題がテーマになっていて、小樽運河の周辺を市民のいわゆるいこいの場として残す必要があると、若者を中心とした住民が訴えだしている。これは今の日本にとって非常に大事な注目すべき事ではないかと報告がされました。そういう運動が起きてきた理由とは、小樽という地方都市の文化の高さだろう。そしてその中で育った人達が良くものを考えて行動している。その事に対して非常に高い評価を与えてくれました。

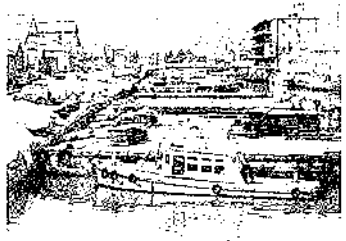
編　そうですか。

流波会議の話を聞いて一番感じた事は、もちろん大きな自信がついた事もあるんで十けど、まわりの人達がそれだけ小樽の事を考えているのに、実際小樽の住民がどれ位い街づくりの事とか、運河問題を考えているのか、興味を持っているのか疑問になりました。街づくりをしていくには市民の意識や理解が一番大きな力になっていくと思いますが？

末　今日本人がここで踏みとどまって、開発という事を考えなければ、土地は荒れ果てて、いつか危機がやって来ると思います。北海道の開発は政府の方針、つまり道央中心で、道央経済圏からはずされた小樽は、幸いにして昔のままで残ったのよ。よくも残ってくれた！　という場所が小樽で、その大事さを私達住民がわからなければいけないと思うのだけど。

編　そう思います。

末　市役所の偉い人達とか、経済会の人達は、小樽を道央経済圏の中に入れて開発しようとしている。工場を誘致しよう、道路をつくろうって考える。人間が人間らしく住むための少しとして残った小樽なんだから、そば屋なりの街づくりの仕方があると思います。



真剣に生きた街ならそこはふるさとになる

編　小樽はコミュニティが生れやすい街ですね。

末　そうですね。私が十三年前、飲み屋をやると言った時に周囲の人達が猛反対してね、なんでそこまで身を落さなきゃ落していけないんだってね。私は飲み屋をやる事が身を落しめる事とは思わないし、今までやってきてちっとも後悔していませんし、それこそいい商売だなって思っています。

編　つまりそこでコミュニティを持つ事ができるのですね？

末　そうそう、酒屋通りに並んでいる喫茶店とか、その他いろんな所に若者達が全国から集って来ているでしょう。私はこういうものをずっと見守って行きたいと思うし、育てていってあげたいと思います。

編　喫茶店なんかはコミュニティを作る場として大きな力となりますね。その店を通じて会話があって、小さな結びつきができて、街づくりにまで発展していくのですから。

末　そうしてね、若者達が自分の街をどうしようこうしようって問題意識を持っている街ってね、小樽のような20万近い人口規模の街では普通ありえないのね。

編　小樽は歩ける街なんですよね！だから自分の街だというような、自分にとって大きな庭のような感じで愛着が持てるのだと思います。

末　ふるさとなんですよね！

ふるさとはたくさんあっていいんだ、子供の時は遊びに刻して真剣だった、真剣に遊びまわった、走りまわった証だから、川だから自分にとってふるさとなんだ。それと同じように、真剣に生きた、真剣に仕事をした街ならそこは自分のふるさとなんだし、今あなたが言った、歩いた場所、さわった場所が自分のふるさとになるんだと思うわ。車でスーッと走ってしまったり、地下鉄で通ったりした街はきっぱり自分のふるさとになりえないけど小樽の街は歩ける、夜更けに運河を歩いた、昼間展望台まで汗を流して歩いてみた。そういう事は全体強い魅力になるのね。私は車を全部しめ出してもいいと思っているのよ（笑い）。

編　賛成！賛成！

末　この間、うちのお客さんが言っていたけど、明治の頃、廃藩置県というのがあったけど今度は、廃県置藩にしたいって。（笑）小樽と札幌は薄実に違うから、札幌は札幌でおやりよ。小樽は経済圏から離れてもいいから、小樽群でもいいから、独立して自分達のゾーンを作っていきたい。その方がその街らしさが残るしね。

編　ワインで有名な池田町なんかは、そういう点からみると上手に街づくりをしているのではないですか？

末　うん、あそこはそうですよね。街ぐるみ生き生きしていますよね。

編　小樽は18万都市ですから、なかなか池田町のようにいかないけど、札幌なんかと比べると、たとえば町内の近所つき合いなんかが良い意味でまだまだ強く残っていますね。

市民ぐるみでお客さんを大事に

末　ドー町的なものがね。

編　にぎやかな昔ながらの市場なんかもあっちこっちに残っていますしね。

末　ほんとね。小樽はいい街だってよく言われるけど、いったい何がいいんだというと、私はいい人間関係の持てる要素のある街だからだと思うんです。

編　末岡さんは観光協会の理事をやってらっしゃるそうですが、これから小樽の観光を考えた場合に、運河を中途半端に残してはなにもならないと思うのですが。

末　それですよね！運河を埋めて道路にした方が観光客が来ると考えている人もすい分多いみたいですからね。

編　小樽の観光は天狗山なんかもちろん使えますが、やはり港、海、運河周辺を利用したものの方がいいと思います。

末　ほんとうに、やっぱり日本中の人を集めさせる能力がある街ですからね。だいたい冬に消れて、夏に泳ぎる所は日本にそうはないと思うんです。

編　これから観光を打ち出すには、その街の地場産業、たとえば民芸品や、その街の産物をいかした食べ物などを、発展させていく事が大事だと思います。

末　そうね。旭川のユウカラ織りとか、木工を見ても、旭川も非常に努力していますよね。そういう努力を小樽でもしなければね、お菓子とかおいしいものがもともとあるんですから。

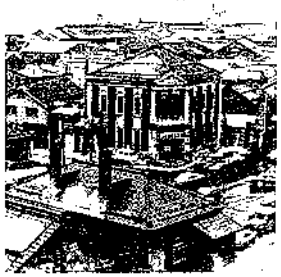
編　小樽は魚がとても安くてうまいんですけど、何か伝統的な料理がないんですか？

末　そうですねえ、少なくとも素朴に炭火でパッとお魚を焼いて食べさせるには、札幌よりは小樽の方がおいしい、釧路でも「ガ端焼き」がありますが、小樽でもそういうものをいくらでも宣伝できるし、材料は十分あります。うちの店なんかも「イカめし」を作っていますしね。ニシン料理、サケ料理、それに小樽にはい寿しとかおいしい店がたくさんあります。

編　高島のかしわ寿しなんかも有名ですね。

末　あ、お寿しもそれはもう。お寿し屋さんはどこのお寿し屋に行っても大丈夫じゃないんですか。

編　せっかくそんなに素晴らしい食べ物があるんだから、住民の消費だけではもったいないですね。もっと外部の人達に利用してもらわなければ。



末　そうそう　おみやげでドンと持って帰ってもらうようなね　海のそばの宿に泊めて、海で泳がせたり、カニを取らせたり、釣りをするなり、見たけでも水につけるなりするようなお見送りの宿をたくさん作って、修学旅行から新婚旅行まで日本中の人達が集って来る　そこにはつたのかずらまったい古倉庫だった宿があって、そこでおいしいお寿しや魚が食べれて、一日目は素晴に行って、二日目には塩谷に行ったとか、一年中遊べるんで寒さの良さ、海の良さがまだまだあるっていう事を、小樽に住んでいるかぎりわからないって事があるかもしれませんか

編　でも外部の人達にはそう分析出来なかってもらえるようにしなければいけませんね

末　市民ぐるみでお客さんを大事にするような、受け入れ体制をつくらなければ

編　家に客を招待する時に、玄関先や部屋の中を掃除する具合にね　ね

末　そうそうです

エルベ川の河口にある港町なんですけど

編　末岡さんは今までに、ヨーロッパや、中国、ヒマラヤとかいろんな国へ行って、いろんな街を見て来たと思いますが、小樽の街に似ていて、これから小樽が手本にできるような街はありませんか？

末　ドイツのハンブルグなんかどうですか　あの街はエルベ川の河口にある港町なんですけど、海岸のそばの飛行場について、まず最初に目につくのがヨットハーバーでね　色とりどりのヨットのたまり場があるんです　小樽もヨットハーバーなんか作ってね　ヨット人口は最近増えているんですから

編　僕の好みではそれがヨットでなくて、手漕の舟とかいかだなんかを浮べたりするとか

末　いいですね　そこであそこはハンザ同盟都市国家だった事の誇りを今でも持っている街なんですよね　もしもヒットラーの街ですから、いたる所に古き良き時代のギルドを華やかにヘンタ　ホールが残っているわけです　ビヤホールといっても石組みのガランとした大きな建物で、そこには若者から老人まで、皆でかたまっていわゆる我々が知っているドイツ民謡を唄っている　お酒を飲んでいても、ガラッと明るくて、皆浜っ子なんですね　それからおれ、ハンバーガーを市役所の地下で名物にして、市でレストランを経営しているんです　飛行機を降りてホテルに着くと市で発行している回数券を渡されまして　その回数券で市の直営経営している酒場、レストランを利用できるわけです　一番安全な酒場は市役所の地下室だという事で不安のないうまいやり方だと思いましたね、任期はエルベ川を下る小さな観光船がでていて、毎度小樽のうしお丸みたいなものです　港の中を走っても非常に港の中がきれいですね　下水道をすっと沖の方までくだを通して排水を港に流さないようにしているんです　汽車場も昔のままに残してあって、あれはいい手本になると思います

強くぶつかる格闘競技が好きなんです

編　末岡さんは、スキーや柔道なんかが好きなそうですね

末　ええ、子供の時から　父が昔剣豪高段の黄帯の教師で、スキー部の部長をしていたんです　ずりンとヒック選手もたくさん出したんですよ

編　ヘェー　そうですか

末　小樽はいいんですよね　家の前からスキーをつけて練習場まで行けましたし

編　天狗山はかなりいいスキー場なんでしょう？

末　そうですよ　あそこは昔から開発するんでしょうけど、いいコースですもの　滑面も広だし、海の見えるスキー場ってよく言いますけど、どこのスキー場ってよく言いますけど、どこのスキー場にも負けませんよね！

編　それからラグビーも好きなんでしょう？

末　ええ、ああいった格闘競技が好きなんです　強くぶつかるものがね

編　そうすると相撲、好き好き？

末　相撲、好き好き！

編　僕も大好きなんです

末　地回が好きなんですね　ああいう小さい相撲取りが好きです

編　富士俊とかは？

末　ああ、いいですね　押し一手でね、増位山なんかあんまり好きじゃない

編　僕はこう見えてもスケートの達人なんですよ　誰一人認めてくれませんけどね　笑い　小樽にはスケート場かないでしょう　残念、残念

末　少し前までは、公園でリンクを作っていたんですけどね

編　今日は為になる話を聞かせていただいてありがとうございます

末　夢の街づくりというのは、かならずしも夢ではなくて、夢のある事を夢みて実行していく事ですよね　早急にどうしようこうしようこうなくて、やはり積極的にゆっくり活動していく事ですね

編　はい！

小樽運河

金子誠治

多くの画家が、小樽運河をテーマとするが大別して二つの型がある様だ。一つは滅びゆく美しさを描く人々、もう一つは、運河は楽しい所であった、そして今後も美しくあって欲しいと願って描く人々である　前者は小樽へやって来た人々である　自分も運河のまわりで遊んで育ち、その心のふるさとである運河を描く一人である。先づ骨の形であるが、その上で遊んだり、手で触ったりしたことのある人はウソを描かない。係留の杭、電線に吊かれる為のロープを掛ける2本の太い柱、その下にある沖へ荷役の為の夜を明かす船底の部屋の入口の四角いフタ、その横から赤さびた図かい煙突、後方の半円位もある大製の大きな梶棒などは、決して忘れてはならないものである。荷役が終ってから木色で書かれた屋号の入った大きなテントを、三、四人でバタン／＼と音をたて乍ら畳んで、米俵位の大きさになったのを、ボーンと甲板に放って積みあげる。太いロープを、きれいに丸く巻いて収め、竹箒で甲板を掃き終えると、ベージュのきれいな甲板が、雑穀と干魚の交り合った匂いを残して静かな運河の佇いになる。浮の影が映る水面は、緑色になって底の方迄見えて居る。子供達は浮の上を走り廻ったり、喫泳いになって、船底についた海草の揺れる間から、小さな鯨測が泳いで居るのを見付け、魚取り網を使って掬いあげる。黒と銀白色の縞の5～8糎位の魚は、広口瓶の中に入れると、クル／＼体を光らせ乍ら泳ぐ。得意顔で家路に着く。それは、エンゼルフィッシュの様であったが、何日位生きて居たか覚えていない。子供達は、水の中で発見した、その美しさの感動と掬いあげた時の喜びより覚えて居ないのである。

其他、浮を曳く発動機船のポン／＼と青い煙の輝を飛ばし乍ら、水面に大きな二本の波を広げ乍ら運んでゆく姿もしき、白い蒸気と黒い煙を吐いて、クル／＼、ガラ／＼と海底を変業して居る四角い船、小さな舟から笠気を送って貰い乍ら、丸い大きな瓶に赤いゴムの手袋で敬礼して、水中に消えてゆく、もぐり一の小父さん達等、何時迄遊んで居ても飽きない運河であった。

倉庫群も又楽しいものであった。入口の横に忍ず小さな小屋があって、雑穀商であった父の帳場さんに連れられて、荷物を見に行った帰り、留守番の小父さんから、新聞紙に包んだ黒飴の入った味噌まんじゅうを貰った。その美味さは、今だに忘れられない。又、倉庫の入口の前に、高さ60cm位のトタン張りのフェンスが置いてあるが、それはいたずらっ子が入らない為で無く、ねずみが入らない為めと、小父さんが優しく言って呉れた。

海有り、山有り、ポプラ有り、小樽は素晴らしい街だと言ったのは、版画家の棟方志巧が40年前来樽し、僕達若者と花園公園の池のあたりをスケッチした時の言葉である。噴水を中心にバックに大きなポプラを描き乍らその言葉を連発して居たのであるが、其の池には一鳥が居た方が良いなあー　とベリカンや白鳥をドン／＼描き込んで、僕達は笑い乍ら突飛な絵だと言って居たが、その数年後、この辺に動物園が出来、水鳥の棲家になったのではないか、何かその様なふんいきを感じ取る素直な感覚を彼は持って居たのであろう。版画の魅力に取りつかれたのもその頃からである。この坂の街での風景画は立体的構図が描けるから楽しい。廻りの山々が良い。石山町には砂利を採集して居る山が有り、手宮富士と呼んで居るのだが、削り取られ直線的にカットされた赤土山は、何度も版画になった。運河は、両側の倉庫と石垣の影が、そのままゆら／＼揺れて映って居るのは、白黒の絶好のテーマで、僕の道展初入選第一作であった。以来運河と、そこに働く人々をテーマとした作品は青年時代からの連作として発表して来た。

小樽運河を描く人々に願う事は、死んだ風景でなく、此で生活して居た且つての人々の歴史を考察して、味わい深い、生きた運河を描いて欲しいと思って居る。

僕にとっての小樽

―― 戦後入植者の弁 ――

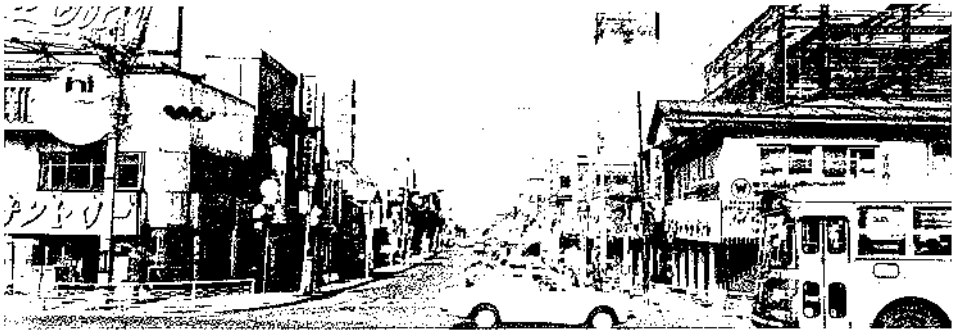
山口　保

この街の駅に、はじめて降り立ったちょうど3年前の、まっ白な寒い冬の記憶を、きょうは本当に久しぶりに、ふり返ろうと思う。ふり返る余裕もなかったこの、短い十年ひと昔も、この言葉の本当の意味のように、自分の、ちょっと恥ずかしい人生の、竹のひと節として記憶の中に、きちんと折りたたんでおかなくてはならない、そういう年令にさしかかっているのだとも思う。でもそれは、きっと、小樽の街の、山へせり上がって行くあの、急な坂道を登ぼりつめてゆく時、ふとふり返った視線の中の、荒々しい冬の海のようなもので、のぼりつめてゆく足どりは、背中の海のやさしい威嚇に守られていてほしいものだと思う。

くにの母に言わせれば、ぼくはこの十年来、同じ土地に2年と定着したことがないそうだ。そしてこの街で、はじめて3年を すごし、今年はもう4年目になる。家庭らしくもできないが、家庭ももち、父親らしいことは、何もしてやれていないが、子供も一人できた。相変らずストーリーのないフィルムのような毎日に苦悩され、ドラマも感傷もない日々に追われてはいる。

しかし、この街に、何よりも、生きものとしての人間の領域に、生活をはじめているのだという自負がある。

東京にぼくも、背広の都会人として生活した短い時間があった。外国政府の出先機関の現地採用の公務員という



ことで、就職先に特に不安も不満もなかった。落れかかった仕事帰りの夕暮れの電車の中には、無関係な一人一人の疲れた顔や、他人ばかりがあった。そこは、それより少し前、3年ばかり住んでいた、すっと日本より西の〝どんな権利もない他人のくにぐに〟よりもっと〝他人の土地〟のような気がしていた。このくにの機能の集積地のまん中で、目的のない機能が自分を占領しはじめているような気がして、ならなかった。一日一日の生活の〝鎖〟を奪われ、ひとの心の中にまで土足で踏み荒されているような実感があった。そして、それとひきかえに、郊外の土地や家や家庭が、うまく行って手に入ったとしても、それは、ひきあわない取引きだと思えてならなかった。結局そこは、背広の都会人の領域だったんだと思う。そしてそこには老人や、子供の領域が、そして、本当は豊かで、とても十イーブな人のこころの領域が、ぼくには見つからなかったのである。そしてそこはもう街というにはあまりに大きすぎた、思えば、いろんな事があった、さわやかで、やさしく、美しいものばかりではなかったように思う。

そして3年前の冬の事から、もう一度話を始めようと思う。

白い雪化粧のこの街の駅から一今は道路をまたぐ大きな歩道橋で見えにくくなったが一街並を通してのぞきみる港の風景は、見えない分だけ、人の想像力や、幼い好奇心をささえている。

母見坂とよばれるとても急な坂道をのぼりつめて、友人の家にたどりつくまでの途中、ふり返ってはながめる港の景色は、だんだんはっきりとその姿をみせはじめる。全ての道が海に、そして港につながっているように見えるこの街は、まきれもなく言葉どおりに港町だったのである。

海のにおいがする、そしてなつかしい山のにおいがする。ぼくは日本でいちばん山近、漁師の生まれなのである。そしてそこには、木々や草物や谷川のせせらぎがあり、生きものや魚たちの生活を想像することができた。行き交う人々の、防寒服の下には人々の生活のひだが想像される。全てが手をひろげれば、手のとどく範囲にあり、理解を拒まないひろがりの中にあるように思われた。ミニスキーをはいた男の子や女の子が、通りすぎる車に並んですべりおりて来る。春にはきっと、あの目の前の港にまで、釣りざおをもって魚釣りに出かけてゆくだろう。港や海は、この街の道路や、路地とそういうふうに今も、つながっているように思われた。港や海は、生活の場であるように、この街ではもう、市街地なのである。そしてそこには、子供たちやと大たちの領域があるような、気がしていた。

薬日には友人と、二人でミニスキーを、買いにいったんだと思う。たしか350円だった。ささやかなぼくらの交通手段として利用できそうだった。さっそく、夜の街を、富岡から入船まで、ソリとミニスキーで知り合いのおばさんの家まで、布団を借りにでかけていったんだと思う。何と気容でおおらかな路地の連続だったろう。路地は本当は歩く人間の天下なんだと思いながら。

こういうふうにしてぼくは小樽の街に住みはじめた。手や足や五感が、なつかしい気分の中で解放され、本を得た魚のように感じられたのは確かである。知識や情報だけが、はばをきかせるこの世界で、生きものとしての人間の領域をたくみに従へ、なおも都市であることをやめないこの街かぼくの都市という言葉の先入観を変えはじめた時、ぼくはこの街で、本当の意味で、生活に生じめたのだと思う。

機能に生活を埋めつくされ、コンクリートやアスファルトや、宿庭の自然以外には、たっぷり時間やお金をかけないでは他に何も手に入れようのない多くの日本の都市での生活を尻目に、この街は、なつかしく思っているのである。

飲み処 みくらチェーン
○ 若松「みくら」
○ 稲穂「パール」
○ 嵐山通り「おとずれ」
○ 手宮「琴」
全店女性募集　TEL 23－1880

MERRY·GO·ROUND
メリーゴーランド
8-3 NISHIKI-MACHI OTARU
TEL 0134-32-2235
COFFEEと
おしゃべりの店
おたる手宮錦町
たくぎん手宮支店
左入る

連載小説

ロシア珍道中

その②

怪人"社長"ロシア娘とモスクワの夜に去る

先月は、小生と社長のオフロ事件と、社長「夜の美女達」の事が聞かれてしまった所までででした。この小生の友人の社長、ふだんはなかなか信用のおける男で、勉学も良く出来、友人達にも思いやりかあり、容姿もなかなかなもので、ジュームス・ディーンを生長させて、日本人的にした感じの男なのでありますが、一度アルコールが入ると、別人の様にだらしなくなってしまうのである。

さて、ディチーがすみ、小生達が室にもどって来て、ほろ酔い気分でいると、社長が「おい、さっきの話本当かな？ん？何の話だよ？」「ほら、あの夜のロシア美人達の話だよ。いや！おい、やっぱり来て良かったなあー、前から一度そのーヒヒヒ……」とニタニタ一人で笑っているのです。もう小生が何を言っても駄目で、「ここは外国なのだから、くれぐれも日本人の恥になることだけはしないでおこうぜ」などと言っても、「まったく、そのとおりである！人間、体の大きい小さいではない、たとえ小さくとも、うちの伝さんは心がこもっている。今日こそは日本男児の心意気を見せ、白人どもに思い知らせてやるわい！のう！ハッハッハッ！」とまったく通じない。「さあ行くぞ！下者は新しいのにしろよ」などと言われ、結局小生も行くはめになってしまった。まあ小生も嫌いな方でもないし、夜の風にあたって散歩するのもいいなどと、赤の広場をぬけてゴーリキー通りの方へ歩いて行きました。ゴーリキー通りはモスクワで一番にぎやかな通りで、若者達アベックや、老人夫婦などが仲良く手をつないで散歩していたり、花売りの老婆がいたりでなかなか良いです。そうそう、あのソ連にもホモかいるのですねえ、ピッタリと寄りそって歩いてる男どうしのカップルに3度位会いましたよ。

さて、社長はといいますと、小生達の後を手いっておりまして、通りすがりの女の子達に、ドーブルイ・ベーチェル（今晩は）などと話しかけながらついて来ます。小生達はまずゴーリキー通りにある「インツーリストホテル」の地下のバーへと下りました。そこでウォッカ・ジュースとコニャックなどを飲みながらあたりを見てみると、いろいろ、左はしにはフランス人らしい男女5人、並びのテーブルにはドイツ人の男が3人、そして右側にはロシア人らしき女の子が5人座っております。本当にロシア人は外国人用のホテルには入れないはずなのですか、そこはそれ色々とあるそうです。まず須田さんという何度もロシアに来ている人が、右側のテーブルに座っている5人の女の子に「よかったらいっしょに飲まないかい？」と誘ったら、ニコニコしてやって来た。彼女らにコニャックをすすめ、まず最初のカンパイである。ザ・ズダロービエ！（健康のために!!）と一気にグラスをあける。小生がなかなか一息に飲めないので女の子達にからかわれてしまった。しかしロシア人は良く飲む。アル中ではないかと思うぐらいで、ボトル一本などあっという間である。社長は女の子達におだてられて、ガバガバとコニャックをあおって「アイ・クラシーバヤ」（君は美しい）の連発である。日本ならとてもとやないけどはずかしくて言えないのだから不思議だ。女の子達はケラケラと笑いころげている。本当にこれが日本のイメージでの社会主義の若者達なのだろうか？と思う。プーシキン広場ではロングヘアーの男達とも会った。彼らはそこに集りギターを弾いて、ビートルズやクリームの曲を歌う。30人位もいただろうか。色々聞いてみると学生あり、労働者ありで、夜ここに集まって来て好きなロックを歌ったりするのだそうだ。ヤミで買ったのだろうけど、ピンクフロイドやキングクリムゾンなどヨーロッパのロックバンドのレコードは持っていると言う。ふと、五木寛之の「さらばモスクワ愚連隊」を思い出してしまった。さてさてまた話に戻ります。酒がだいぶ回ってきた頃、社長が「オレは、あのナターシャが気にいった。どうやら彼女もオレを気にいった様だし、ウッシッシッ散歩でもしてくるから、君達は自由にしたまえ」などといだした。そのナターシャとは、カトリーヌ・ドヌーブの若い頃の様な美人である。「おい、明日は早くソチへ立つのだからほどほどにしろよ！」と言ってもまったく馬耳東風で出て行ってしまった。

ークソ！何であんなヤツがモテるのじゃ!?オンの方がよっぽどイイ男なのに！と思いつつコニャックをグイとあける。あーだめだ、急に酔ばらって来た。頭はしっかりしているのだが足がいうことをきかない。「須田さん、自分は先にホテルへ帰ってますよ」と楽しくさわいでいる彼らを残して外へ出た。ホテルに帰る道すがら、社長の事を思う。「オレもあいつみたいに自由に女の娘と話しが出来たらなあー」どうも小生は女の子の前に出るとあがってしまって顔が真赤になってしまうのである。つくづくウブな男!!

さて、明日はモスクワとも別れ、黒海沿岸の「ソチ」へ向って立たなければなりません。さらばモスクワ!! 唯彦

飯田『小樽運河地区公園化構想』批判

駒木定正

①はじめに

悲しみある街のたたずまいに引きつけられ、小樽には毎年多くの観光客が訪れる。彼らは、温泉宿を訪れる湯治客のように、バスを連ねて、酒を求め、芸者を上げ、ゆかた姿で市内を闊歩するのではなく、実に静かな訪問である。それは、温泉街にみられる「観光客」と呼ぶには不相応な人々といえる。その多くは、小樽の歴史的風景や建物などを求めて集う、知的散策者と呼べる人々である。

観光客が必ず十万訪れるであろう「小樽運河」は今、心ない計画案によって埋められようとしている。その計画案の問題点と、今後のあり方をここで述べてみよう。

②歴史的都市環境としての小樽

小樽は、その歴史性から、建造物をはじめとする都市環境に個有の形態をもつ。特に、小樽運河と石造倉庫群はその景観なものと認められる。そのため、道路建設計画案に伴う運河埋め立て問題は、多くの注目をあつめている。それは、単に小樽市だけの問題としてではなく、北海道の都市環境形成における先駆的視点としてとらえられる。小樽運河埋め立て問題は、北海道における初めての歴史的都市の環境保全にかかわるものとして考えられよう。

高度経済成長の時代は、地方都市のもつ歴史的蓄積を喰いつぶしながら、画一的な発展を遂げてきた。それは、当時としては、都市発展の必然の姿であり、リトル東京と呼ばれる都市形成が落とされ、まさに、中央指向型の方向にあった。しかし、不要的価値遺として、過去の歴史的遺産を大切にすることが見直され、結果的に、地域性を生かした都市づくりが行なわれはじめた。最近は、地方都市の歴史が育くんだ文化の蓄積を大切にした、都市空間がつくられている。

ここで神戸市の例を紹介してみよう。神戸市は教育委員会が中心となり、歴史的建造物及びその環境整備に力を注いでいる。都市の歴史性について、坂本勝比古（工学・建築史・住宅政策部主幹）は次のように述べられている。

都市の歴史性について、都市は時間の流れを反映し、その都市が今日まで成長してきた過程を浮き彫りにしている。この都市を形成する最大の構成要素は、建造物であり、その群である。中略…その集合体である都市の歴史的景観や環境は、都市を築きあげてきた市民のモニュメントであり、同時に市民の精神的連帯のシンボルといえるものである。…ディチーフル51…より、このような考え方に基づき、神戸市北野・山本地区の歴史的環境整備が実施されている。昭和48年1月19年には、建築史の専門家によって建築群の実体調査が行なわれ、市の景観条例がつくられた。さらに、坂本氏は歴史的建造物保存について、「建物かその地域に実体として存在するようになって以来、数十年以上の星霜を経て、そこの住民や市民たちの生活の中に受け継がれ定着し、都市景観の一つとなった建物の存廃につながる問題」としてそ、の方法は、具体的なそれぞれの都市の全体計画、地域計画のなかで位置づけが合意されなければならない」（前記）と述べられる。神戸市を例にとるまでもなく、地方自治体の文化財行政の姿勢は、直接都市形態に大きな影響を及ぼすのである。特に、歴史的都市であればあるほどその影響力は大きい。

小樽は、北海道における歴史性と現存する価値ある歴史的建造物の数からも、進んだ文化財行政が実施されていなければならなかった。しかし、市当局は運河周辺の景観及び環境整備に音を向け、それらの歴史的、地域的価値を正当に評価していない。むしろ、井上孝、元東京大学教授（現、横浜国大教授）が立案した、運河埋め立て計画を、一方的に行政主導で進めようとするのである。すなわち、小樽市は歴史的環境を平光して破壊しようとしているのである。

文化財保存の全国的潮流は、行政主導に基づいて行なわれているが、小樽はその潮流に反する特異な例ときてみられる。

③市民主導の街づくり

小樽の意識ある市民の街づくりに対する活動ぶりは、それに方を法がない市当局とは反対に、全国から高い評価を得ている。本来、行政当局がしなけ

れねばならない内容を、彼ら市民が身銭を切って代行しているかのようである

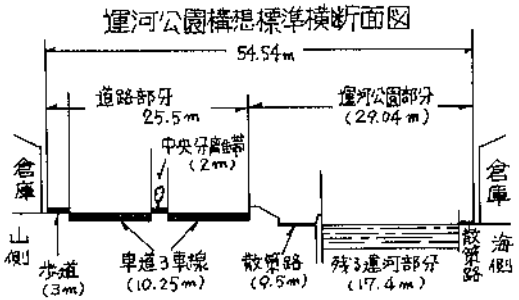
昨年の7月8、9日の「ポート・フェスティバル」開催においては、運河景観環境の再活用を提示し、多くの市民を運河へ引きつけ、その環境への関心を高揚させた。また、8月16日には、将来の小樽の街づくりを考えようと、若者達によって「夢の街づくり実行委員会」が結成された。彼らは、12月23、24日に小樽に手づくりの文化を推進させようと、バザールを開いた。さらに、特筆されるべきこととして、「小樽運河研究講座」が開講された。より良い街づくりのために、各界から専門家を招き、広く市民の総合的な学習、研究の機会が市民の手で設けられた。そこでは、内容のある討論が展開され、小樽の街づくりにより一層のはげみとなるものであった

小樽運河周辺の環境問題をはじめ、小樽の歴史的環境のあり方を考えようとする、市民の意識は高いようである。これら意欲ある市民意識を先取りできない行政側の姿勢と、その能力には疑問をいだかずにはいられない

④欺瞞にみちた飯田構想

市当局は、住民側との話し合いを十分にもたないまま、飯田北大助教授に建築に運河埋め立て計画を依頼し、先日その内容が発表された。しかし、それは、現在運河周辺の環境として残されている石造倉庫群などを、歴史創建造物における景観、環境保全の立場から保存しようとするのではなく、運河木環部分をわずかに残そうとする内容である。賢明な市民は、その欺瞞元さに驚くばかりであろう。さらに、その内容は、表向き現在の景観は残すと言いながら、その本質は、全く景観破壊を意味するものなのである

ここで、この飯田構想がいかに陰険であり、市民を欺いたものであるかを、市側の説明会で配布された資料「小樽運河地区もしくは小樽河地区公園（仮称）の計画の考え方の概要」を参考に述べてみよう



これまで運河周辺環境の保存及び整備を主張してきた市民に対し、市当局は、市内交通渋滞解消のため、文化遺産としての運河の埋め立ては止むを得ないと何答してきた。しかし、今回はこの地区を「北海道及び小樽市の発展史の中における小樽港及び小樽運河の位置づけを残しながら、今後に小樽市民の誇れる地区として市民意識の連帯をうながす場所」と認識を改め、「小樽運河のもつ、固有の歴史的、景観的特性を守り、残し、それを将来に向けて伝える重要な歴史的空間として整備する」とした。この内容を理解する限りにおいて、市側は、これまで運河環境の保存、整備を主張する住民の求めに十分応えたものであり、市民側にとって大きな進歩と思われよう。このことは、本来ならば非常に喜ばしいことであり、この基本構造に立脚した整備計画がいかに実施されるかは、大いなる関心ごとであり、期待が寄せられるのである。しかし、その具体案として発表されたものは、まず「運河地区の一部に新計画道路を導入し道路と伝統的建築（石造倉庫群）や運河を有機的に結合し、その相方の利点や魅力を生かしながら、その特性や魅力を傷つけないよう配慮する」と述べているのである。新道路計画の説明が全くされず に、「小樽運河のもつ、固有の歴史的、景観的特性」とする地区環境に、なぜ新たな道路が導入されなければならないのか。六車線もの道路が、「重要な歴史的空間」を寸断するように通らなければならないその必要性とは何か。道路建設によって「空間」が中央から寸断されるにもかかわらず、「重要な歴史的空間」と呼ぶ理由は、一体何を意味するのか。道路建設理由について

「言もふれていない」計画の考え方の概要」とは、裏付けのない、空論であるとしか言わざるをえない

「道路拡巾地区」の項にいたっては、この概要がいかに欺瞞にみちたものであるか理解される。運河と骨と両岸に建ち並ぶ石造倉庫群、さらに道路などで構成される環境を、「絵や写真愛好家の好んで収めている景観等に留意し、これを守り」と認めているにもかかわらず、現状の運河部分を半分も埋め立てて道路が計画案通り建設されるならば、いかに景観が変質してしまうかは、十分に予測されるのである。まず六車線の大型道路が運河西側部分に設けられると、現在、石造倉庫群として誇めて良好にその景観が保持されて、ある運河西側の倉庫は、近い状来にすべてその機能を失い、ついに破壊されるのであろう。それは海→運河→石造倉庫へと流通している物資が、すべて新道路によって寸断されるからである。交通量の激しい道路を強引って物資の搬出入など不可能である。すなわち、現在の石造倉庫は、「倉庫」としての使用価値を失うのである。また、物資輸送の使命を否定される事は、運河にうかぶその必要性も奪われ、石造倉庫消滅以前に廃棄処分されるものと考えられる。その結果、運河東側部分の倉庫群にも機能低下が及ぼされ、最終的に、小樽の運河倉庫はすべて破壊される運命となるであろう。重要な歴史的空間と認める運河空間に残されるものは、六車線の道路と車と携帯ガスだけである。

これが、「小樽運河地区もしくは小樽運河地区公園（仮称）の計画」の正体なのである。たとえ運河沿いに散策路やベンチを設けようとも、現在の運河景観は全て破壊されてしまうのである。「いつまでも容易に接近でき、利用できる空間であり、学び、いこい、生産する空間でなければならない」とする運河空間などできるはずはないのである。

それは、市当局の現在までの実績をみれば、さらに理解されよう。小樽市が石造倉庫群を残そうとする前向な姿勢であれば、すでに、市教育委員会によって個々の建造物資産が実施され、その報告書も出版されているのが、社会一般の常であろう。さらに、文化庁建設省委員会から再々の建造物文化財指定のための調査依頼がきているのである。しかし、小樽市は今まで建築史の専門家に建造物調査の依頼するしていないのか現状であり、文化財行政に対する怠慢は、非難されるべきものである。本来、小樽市当局は、「運河を含む古い建物群」を、小樽市の固有の歴史的遺産、などと言うできる資格は、行政側としてないのである

⑤運河環境保全にむけて

小樽市当局は、貧弱な地方自治体の財政から「運河をはじめとする文化財保存を含めた街づくりは不可能である」などと言えない

前述した、小樽の若者達による「運河講座」の中で、北海道地区町・土蔵町の町づくりが語られ、行政側のやる気かあれば、地場産業を全国水準以上に育成し、それによる街づくりを実施することが可能であることは理解されたのである。池田町の街づくりの反省として、今までは行政主導型であったが、数年前から町民主導型の町づくりが目指され、「百人委員会（通称）」と呼ばれる住民側の諮問機関が設置され、その町民意見によって体育館が建設されたのである。

小樽市における街づくりは、池田町の例とは反対に、住民意識及び実績が高く評価されているが、市当局の行政内容は、今回の「計画」にみられるように怠慢であるばかりでなく、住民に対して欺瞞的ですらある。今後、小樽市は、運河周辺の環境整備計画を、「住みよい都市づくりの一環として考えなければならない」。まず、研究する体制を整え、意識の高い住民を納得させるだけの実績を上げなければならない。それは、建造物調査、報告、文化財指定などの行政責任として果さねばならない義務を実行しなければならないのである。また、新しい道路が必要である理由を明にさせ、その分析内容を提示する調査が望まれる。それら調査報告に基づき、住民意見とは調整を計るための機関として、諮問委員会設置を望みたい。そこで、住みよい都市の建設目標を討論し、将来にわたる長期的視野から文化財指定景観条例などの法規制によって、小樽の住みよい街づくりに必要と思われるものは、市が率先して、市民のために残し活用する方向に進展することを期待する

当世高校生気質

伊藤　薫

高校へ入って一年と十ヵ月。

いわゆる「青春」ってヤツのまっただ中にいるわけですが、どうもその言葉には拒絶反応を起してしまいます。

よくオトナの人は「青春は素晴らしいもんだよ」なんて言いますが、女性にモテない僕にはどうもピンとこないんです。だからいつも「失ったものは素晴らしく思えるもんさ」なんてニヤケています。でも目の前にある物はかえって見えにくいのかもしれませんね。

僕の周りにもいろんなヤツがいます。スポーツに熱中しているヤツ、なまじロックに夢中なヤツ、柳原郁恵に狂っているヤツ。ひたすらフィーバーしているヤツ。麻雀にウツツをぬかしているヤツ……

何が良い事なのか悪い事なのか僕にはわかりません。でも「社会に出てしまえば好きな事が出来なくなるから今のうちに……」っていうのはいやですネ。

「青春」を大いに楽しんで、その後は適当にっていう考えには賛成出来ません。もし「青春」が楽しいものならば、一生の間そうである様に努力したいものだと思ったりしています。

人生を無駄にはしたくない。だっていつ死ぬか誰にもわからないのですからね。こんな事を言うと、とってもカッコいいけど、実際自分はどうなのかって毎日の生活をふり返って見ると、とても他人の事は言えないようです。

でも自分なりに反省はしていますけど、昨日を見て、今日を考えて、明日を想像して生きて行きたいものだと思っています。

みんな（僕も含めて）昔の価値観を否定しています。でも自分独自の新しい価値基準を造り出すまでには至ってなく、たいした根拠もなく好き勝手な事をやっている様な気がします。

それは「自由」というよりむしろ「無法」に近い性質のものなのかもしれません。

体制を変える事より、その体制にどの様にして対応するかが問題事の様です。自分で創造するという意識が弱い様です。これは物質的な豊かさが大きな原因なのかもしれません。

金さえあればほしいものはほとんど手に入る。受験制度に従っていれば大学へ入って、会社に入る事も比較的簡単な事で経済的には危機感もありません。（日本でパンク・ロックがパッとしないのもそのせいでしょう）

わざわざ自分で事を起す必要もない分けです。

最近の高校生の自治意識の低下の原因もそんなところからきているのかもしれません。

高校生って本当に中途半端な存在です。義務教育の中学生と、大人として扱われる大学生（花の予備校生、恐怖の宅浪生も含む）に挟まれていて、勉こうと思えば勉けるし、普通の喫茶店ならおおっぴらに入る事もできる。でも酒、タバコは御法度、社会的におおっぴらには活動しにくい。

本当にあやふやな存在です。でも逆に言うと、いいかげんな行動が許される存在なのかもしれません。

だからこそ自己規制が必要だし、それの元になる価値基準が必要だと思うのです。

人生の中で高校時代をどの様に位置付けするかは各自の問題です。

僕としては単なる逃避的な期間にはしたくありません。

どの様な形にしろ、人生の中で重要な意味を持つ時代にしたいと思っている今日この頃です。

ポンポン船

中一夫

小樽で生まれて、小樽で育って、そして今、小樽で食っている。

経済なる二十三年間の人生のうちの二十年間を小樽で送って来た。

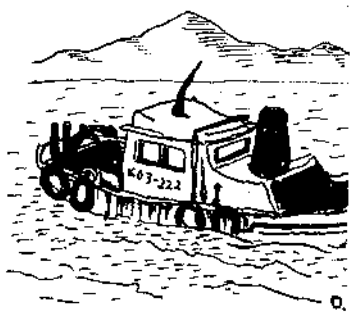
「小樽はいい街だ」と、初めて感じたのは皮肉にも小樽を離れ苦小牧で空白の三年間を過した時だった。

小樽人には、まず今現在を生きて暮らして食っていく事が一番肝心なのだ。どんなに「おらの街はいい街だべや！」と、言ってみたところで産業は一つ一つ減っていく、かつて栄華を極めた色内大通りも今では、当時の隆盛を忍ばせる石造建築、倉庫が冬眠に入った熊のように静かに建っているだけだ。

また翼を返せば、経済成長路線に小樽が乗っていたなら貴重な街並みも無かっただろう。

この街が小さくなればなるほど、少しずつ心温たまる住みやすい街になって行くような気がする。しかし、どんなに頑張っても小樽人には本当の小樽の良さはわからないのではないだろうか。なぜなら毎日の生活の場であり、仕事の場であるからだ。だから、本当に小樽の良さを理解できるのは通り過がりの旅人だけかも知れない。

手宮の錦町にメリーゴーランドという廃品をうまく利用して作った喫茶店がある。その三軒隣りに遠前電気株式会社がある。前者は小生が日に二回、往復と通う喫茶店であり、後者は小生の勤らいている会社だ。前者のマスターは関西出身の人で小樽に来て三年、後者の社長は札幌出身で小樽に来て三十年以上。前者のマスターと彼の奥さんは小樽運河の重要性を熱っぽく語る。後者の社長は親会社の推す柔守柔道議候補を当選させようと一生懸命だ。前者のマスターと奥さんは小樽人より小樽人らしい小樽人だ。後者の社長はすでに小樽人だから、まず今現在を生きて暮らして食っていく事が肝心なのだ。



仮に生粋の小樽っ子だから、どんなに頑張っても小樽の本当のよさはわからないのかもしれない、だけどこの街が好きだ「おらの街はいい街だべや！」って、理屈抜きで言える。

しかし実際に暮らしていると「この街が好きだ」などと理屈をこねている暇はない、ただあるのはいつもの長い坂道、そしていつもの曲りくねった道だけだ。情緒があるとか、文化的だとかっていうのは、ごもっともな事だとも思うが、小樽人には納得のいかない文句のような気もする。

年々運河は汚なくなっていく、きれいにしなければならないと思う。そしていつまでも残していかなければならないと思う。だけど、文化的だとか、情緒があるとか、経済性がどうだとかは僕にはまるでどうでもいい理屈だ。

僕の頭の中にあるのは子供の時に見たポンポン船が行き交い、たくさんの弁がひしめきあっていた運河だ。その頃すでに運河の汚れと臭いの事が言われていた。だけど僕には、この臭いが運河独特の臭いなんだと訳もなく信じ込んでいた。また、せわしなく動くポンポン船を見あきる事はなかった。

旅に出る度に好きになる故郷小樽。

旅に出ても、口からこぼれ落ちるのは故郷小樽の自慢話し。さびれればさびれるほど住みやすくなる街小樽。

この街で、これからも食っていこうとしている僕。なのにこの街の繁栄はあまりうれしい事ではない。そんな裏腹な心境にしてしまうこの街が好きだ。

日々新鮮なニュース運びに努力する

北海道新聞　スポーツ・ニッポン
日本経済新聞　日経流通新聞

中新聞店

花園4－3－12　☎33－6063

春の大セール！ エレキを買うと ミニアンプと ハードケースが もらえる!!

KOEIDO

Rainbow Street. Otaru City. TEL.23-5288

まるで
日射しと手をつないで
午後からは
ようやく歩きはじめた子と
坂のうえ
季節の角を丸くすりへらして
ざくざく足踏みしていた街でさえ
もうついてこれない

まだ坂道ともつかぬむかしむかし
キツネの親子が幾組も
とおい足跡を花のように並べて
東にとおい丘へと
渡って行ったこのあたり
雪のかげから海を見つけたら
やっぱりキャッと声をあげたろうか

いくつも用意されている下り坂の冒険や
好きな物語を
わたしたちの地図から見あろし
海までゆっくりと
泳ぐ仕草をしてみせると いさな人は
未来の片すみからこっちへやって来て
一緒に両手を振りはじめる

ストローク ストローク
ストローク
まっすぐゆけるね
ストローク
ストローク

小樽・銭湯めぐり

神佛湯の巻

「もうすぐ春ですね」とどこかで聞いた事のある言葉にあいそうな、そんな季節になりました。今回は、私が週3回は通っている神佛湯を自慢致します。

私の家からは約5分、量販店まじりに歩いていくとすぐについてしまって、湯ざめしないのでたすかっています。この神佛湯、住ノ江町二丁目にあり、周りには、少し上へあがると双葉女子高校、下へさがると生協南店、だいたいそのまん中位の所にあります。ここはたいへん評判がよくて、車で来る人もよく見かけます。第一に清潔であるという事、また時間も夜の12時頃まで営業しているので、夜おそくまで仕事の方なんかは、帰りによって汗を流していくようです。

私はたいがい夜8時過ぎ頃行くんですが、その時間はいつも混雑していて、場所さがしにたいへんだけれども、おそい時間に行くと夜道が怖いので、

また今日も、洗面道具を持って、長ぐつはいて、さあ出かけましょうか銭湯は、だいたい男子は右側、女子は左側ときまりがあるのかしら？ここは、女子の入口が左側ですけれど。

ガラッと戸をあけると、いらっしゃい、と、おじさんが印象的な笑面をむきだして、ニコッと笑ってくれました。

ああ、今日もまたおじさんです。私のやって来る時間帯は、おじさんなのかしら？　お風呂代165円を払って、いつもの様にガラスこしに浴室の中を見ると、そんなに混んでいない様子、でも脱衣所はけっこう混んでるなあ。熱気でムンムン、その中をかきわけながら、浴室へ向います。今日は子供が多いなあ、またいやな予感がしてきました。

浴室の奥には、タイルの壁画が細長くあって、ヨットが浮かんでいます。こういう壁画はどこの銭湯にもあるみたいですね。その壁画をながめながら、タオルに洗けんをつけて、まず首からゴシゴシ、手をゴシゴシ、あとはまあ想像にまかせます。

そしてお湯でよく洗けんを流してから、湯船の中へ、今日は少し熱いけどいい気分です。私の隣りに親子が入っていて、おかあさんの方が数をかぞえています。ひとり、ふたーつ、私も子供の頃の記憶に、「百まで入って50数えるんですよ」と言われたような気がします。すると隣りの浴室から、おい、あがるぞ!!という声が聞えて、今まで入っていた親子は返事をして、あがっていきました。名前を言わなくても、声だけでわかるんですね。

私もあまり長湯をしていては、めまいがして倒れてしまうので、急いで湯船の外に出て、髪を洗い始めました。

鏡を見ながら、やはりパーマはかけない方がよかったなどと今さら後悔をしてしまいました。チラッと隣りを見るとどこかで見た事のある人、向うの人も私を見ています　どこで見かけたのかな？そうです、毎朝バス停でよく見る人でした。どちらともなく話をして、隣り同志のよしみで、背中をこすってもらいました。「ひとりで背中をこするのはたいへんですよね」、と私もお返しにその人の背中をこすってあげました。色々話をしていると、時間がたつのを忘れてしまって、すいぶん長い間、浴室に入ってしまいました。そしていざあがろうとして、浴室を出ようとしたら、先ほどのいやな予感があたって、男子と女子の境のドアが全部開いています。そこで子供が遊んでいるのです。この頃こういうパターンが多くて、あがるのにあがれず困ってしまいます。その子供のおかあさんがドアをしめてくれたので、私はようやくあがる事ができました。時計を見ると9時過ぎ、ワー一時間以上も入った事になる。ホカホカになったからだをバスタオルでふきながら番台の方を見たら、おばさんに変っていました。髪をかわかしていると、3人位お客が入って来て、これからまた混みはじめるようです。私が洗面道具を手に持って、ドアを開けようとすると、ありがとうございました！とおばさんがやさしく言ってくれました。あわいいお湯だった。

なんにもできない女が好きな男のためにつくるHOTなてりょうり。猿

ミルクきゃらメル

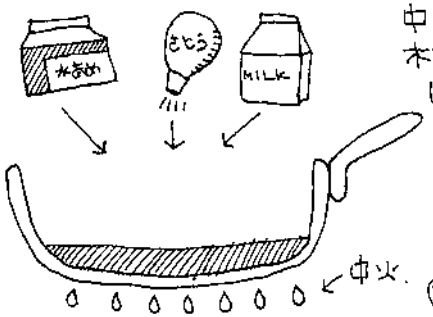
材料。

さとう、170g
コンデンスミルク、100g
バニラ、エッセンス、少々
水あめ、150g
バター、大さじ4。

尚、コンデンスミルクと、バニラエッセンスをいれないで、ピーナッツをいれると、なーんなっ…ないと、ピーナッ、きゃらメルに、なります。こっちもたいしたおいしいのです

作り方。

1



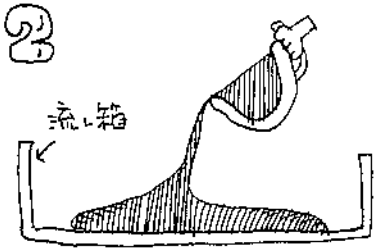
• フライパンに、砂糖、水あめ、牛乳を入れ中火にかけます。
木杓子で、たえず、かきまぜて、120°と前後まで、煮つめます。
この時、こげやすいので、注意するコトトト

これを失敗すると、もう、作れません。

注 木杓子→ こんなのです。木のへら。

• 牛乳がない場合は水あめで、ゆうずいかたいまたは水あめなどで、しこちゃん、ゴ、ゴ、ゴ、あとでにまとめ。

2



火から、おろし、
バニラ、エッセンスを加え、
うすく油をひいた平らな箱に流しこみます。

しまうろうが、よいのです。

3. さめたら、まな板の上にとり、好みの形に、手早くセクリ、おわりトト

セロハンなどに、ひとつずつ、くるむと、ひょ…ひょっとして、売れたりしてトトト

特別企画

私は物を捨てない「リフォームおばさん」

手づくりの文化を育てようとしている「フィエスタ」は、はじめて取材というかたちで企画を組みました。紹介する皆川さんは「捨てるものはありません」というリフォームおばさんなのです。

⇦皮のネックレス（何とミシンのベルト）

⇦いらなくなった古いレースのカーテンはこんな風い道があります

⇨ふつうの紙袋に和紙や包装紙をはるとステキネ!!

これれた1個のサイフからこれだけの物ができるのです

⇩（これは細工がむずかしいそうです）

おやすみ のみたべ どころ
叶児楼
☎32-8937　おたる白鳥通り

自家焙煎珈琲
……コーヒーだけの店……
あとりゑ
小樽市稲穂2丁目16番9号
phone　32－8686

右の写真はアップリケの反対で5～6枚重ねてぬったものから、ハサミできりぬいて少しずつ下の生地のガラを出してふちをまつるという手のこんだもの。皆川さんが途中でたおれたという大作です。この生地も家にあったボロだそうです。

……みんなも作ってみよう……

① 箸袋

和紙をこんな型に切って真ん中からおるそしてふちをのりつけします。

⇒

広告や包装紙からキレイなところをとりとってはるのですよ

⇒

最後におてもとと書く

②荷づくりひも

材料　パンの袋・ビニール袋
とにかく捨てるようなビニールとケーキをつつむようなひも

［細いひもを芯にして細くカットした2枚のビニールを手でよっていくのです。強いひもができます］

A. 両手でつかんで　B. これけっこうむずかしい　C. もちかえて

皆川さんの紹介

前に某テレビでリフォームの紹介もしたことがあるという、自他共にみとめる「リフォームおばさん」。家の中にはアイデア物がいっぱい「一度遊びにきてネ」と言ってました

ティーサロン
モンブラン
MONT BLANC
OTARU
セントラルタウン都通り
TEL(23)0064　(22)0310

コーヒーの香りの中で別世界を……
アンティック喫茶
伊麻里
おたる長崎屋東通りマルゼン2階
☎0134-33-2340

「愛は華麗に」
ニール・セダカ

何と、ニール・セダカの登場です。このアカぬけないシャケットからは想像できない音が飛び出してくる。ボーカルだって実んなかなか若さがあふれている。

この一枚を最終段階で選んだのは、いわゆる彼はポール・アンカやフランス・ギャルとともに、一時を風びした歌手で、すでに超ベテランだ。その彼がかつての音楽のつみ重ねは当然あるにしても、新しい試みを続けているという驚きというより、かなりショッキングな出来事だったからだ。ギターにはリー・リトナーが参加しているが、全体にいやみがなくて、カラッとした演奏になっている。

タイトル曲は「シャレード79」のそっくり人歌。

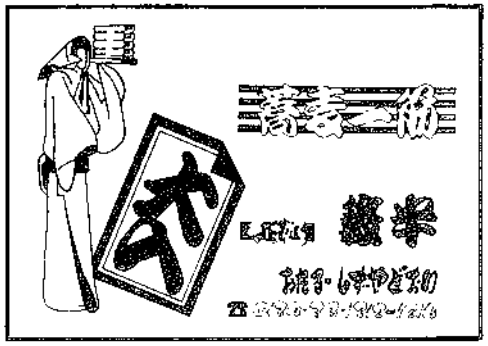
（アニマル）

「救いはきっと来る」
メリサ マンチェスター

このシャケットが実によいのです。まず表は田舎町の停車場で、ドサ回りの歌手らしい女が、大きなスーツケースをいっぱい置いて、ブチの犬とホッとして坐りこんでいます。そして裏には「汽車遅延」と書かれています。

それが表では大勢の群衆に囲まれて嬉しそうに笑っていて、アルバムタイトルが「救いはきっと来る」なのです。まあ出来すぎた話ですか。内容は、レゲエ・クラブのトロピカル風あり、マイケル・フランクスの曲あり、ゴスペル調ありで大サービス。「アクイ、アンクに弱いのよ、アクイはスーコイおバかさん」と、本当に楽しそうに歌いまくっていて、良いのです。

（ミヨー）



「ミッド・ナイト ビリーバー」
B・Bキング ウイズ クルセイダーズ

普段ブルースはあまり聞かないという人にも、ぜひ聞いてほしい一枚。クルセイダーズのバック演奏にBBキングの歌がのっかり、あい間にちょこちょこっと彼のギターワークが入ってくると思わずウーンとうなってしまう。作曲にはほとんどジョー・サンプルでBBキングとクルセイダーズを彩から盛り立てている。BBキングのアルバムをすっと聞いて来た人には、もっとハンチにかけるかもしれないし、クルセイダーズもそれほど派出な演奏はしていないが、なかなか楽しませてくれる。

（アニマル）

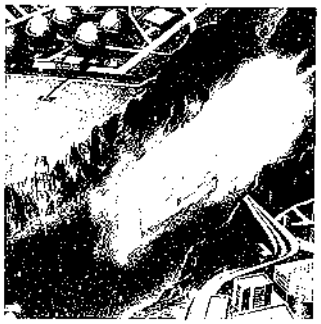
「桃井かおり」によせて
石塚

桃井かおりの名前を聞いてニヤニヤ顔をゆるめるのは僕と同世代の、三十代後半に多いようである。

桃井かおりとの出合いなどというと大師だが、七年の熱っぽさか映画の世界で噴出していた頃に見たあの、青春の躍動、かそうだったのだろう。かおりのふてくされたようで、あまえているような、屈折したさみしさかリアルに自己主張していたような気かする。妙に計算されちまった僕の生活かリアルな自己主張から遠ざかるに従って、かおりの存在が気になるのだろうか。あの映画を見るのも四度目になる。同世代にうけたのはそんなところが共通してあったのだろうか。

レコード屋で見たジャケット写真にひかれて買った桃井かおりのファーストアルバム。

ハードの醍醐味を…
越前

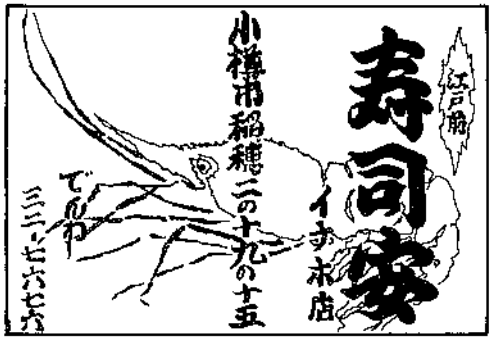


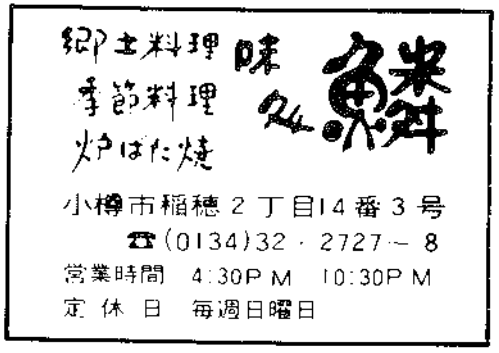
小生、当年三十八才である。この年代になると歌謡曲や演歌などを好む人が多いと思う。

ところが小生は、昔から派手好きで、最近は強烈なビートのきいたハード・ロックばかりを聞いている。いい年をしてこれでいいのかとも思うが、好きな物は仕方がない。

さて、ここで紹介するレコードは、カナダのロックグループ「ティーズ」の二枚目のアルバム「オン・ザ・ルース」である。ハードロックには理屈はいらない。リズムの中に埋没し、心の底まで音の迫力でノックアウトされてしまえばいい。このアルバムはそんなハードロックの醍醐味を十分に味わうことができる決定盤だ。

その他小生のレコードコレクションの中ではジューダス・プリーストの「殺人機械」も最高の一枚である。



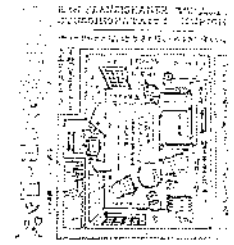


BOOKS

一冊の本が　深い眠りを・・・・

読んでから行くか　行ってから読むか

あなたの知りに、一度はヨーロッパに旅行に行くの!!なんていってる人がいないかな？今月紹介するのは妹尾河童の「河童が覗いたヨーロッパ」（話の特集　890円）という本であなたがうらやましさを隠して空想まで見送りに行く時、そっと渡したいで一冊されるんじゃないぜ。なんて言いながら渡すと効果抜群のスグレ物



この本はヨーロッパの旅行ガイドみたいに思えちゃうんだけど、河童さんは、ヨーロッパの人達と日本人の違い、そしてそのヨーロッパの人達の考え方、環境、風俗、生活様式なんかから国によって違う事を教えてくれるんだよね。それと旅行することの精神みたいなことを教えてくれるわけ　でもとにかく、ホテルの名前・住所・電話番号・値段といったしょに部屋の見取図のイラストまで入っていて、かイドとしては最適

断言みも、バスのことも、汽車のことも全部イラストと入りで、どこの国も口開いて歩けそう　別に旅行の予定のないあなたも夜寝る前に、スタンドの灯りで読むなんていうのも素敵な夢を見そうだね　本屋さんでしっかり探してね

僕の子孫も　宇宙人になっちゃうのかなァ

2月の法則、朝日新聞に「銀河の中心にブラックホール？」という記事がのりました　テイラーによると、どの銀河にもひとつはできるので、宇宙の物質はいずれ終末をむかえる、ということです

そこで私が紹介する本ですが「ブラック・ホール」（ブルーバックス・シリーズ　講談社　五〇〇　円）という堂に紹介したジョン　テイラーの書いた本です

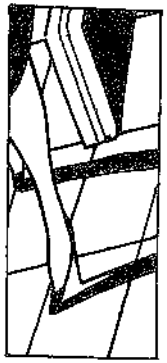
宇宙の神秘は、今や私達の最後の謎になりつつあります　この本では宇宙が無、こ丸を無といっていいかわからないが一になるといっているのです

そしてそのことは、人間は地球人一が複雑な変化をもけてこまったとしても、つまり宇宙人になってしまうことだけと、遠かれ早かれ終焉はやってくれのです

でも読んだあとで、我々の子孫が、宇宙人になってでも宇宙の終焉を見届けるといいなんて思っちゃいましたやっぱり永遠に安らいでいる宇宙というのは存在しないようですね。

輸入雑貨
& COFFEEのお店
December 3
夏ものインド衣料入荷
アルパカ問屋価格、販売中
INAHO2-11-3 TEL.0134-22-9973

TORTAL FASHION LIFE STUDIAM
MIKI SELECTION
PRODUCED by MIKI PROJECT



旅に出よう

市内電車見たいな　郊外チンチン電車

江ノ電

江ノ電は、国鉄鎌倉駅西口から、江ノ島～藤沢駅への一〇キロを35分でかけよっている。　営業開始は日露戦争の始まる二年前と言うから、もうとっくに古稀のお祝いを越えている。日本全国では、出来た頃で言うと、番目になるが、うち半分はもうお隠れになって、いまだにお客を乗せて走っている電車としては二番目に古い私鉄なのです　それでいて一ボロでしようがない・なんて言う人も誰もいない。

その風格たるや二輛連結だが、この二輛か揃っていないのである。　形も違い、内部仕上げが違っていても平気で仲良く轡を合って走っている

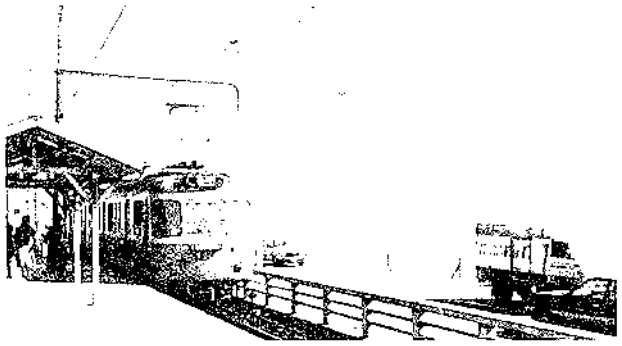
なにしろ各地で市内電車が廃止されると、いつの間にか、その電車が江の島鎌倉見物においでになって居ついている　今でこそそうではないが、外側のペンキが塗り変えられる事もなく、半年くらいそのままの事もあった。

二輛がボロでつないであって行き来のできるのもあるか、行けないのもある運転台に花挿しのついているのもあったり、ドアの傍に鏡がついてあるのもある　それがまた何とも言えない。

電車にとび込んでくる子供たちは、「ボロッチーなあ」と言さ、走り出すと、おもちゃの電車ママ、これ一と言い出す。　ブリキの音がどこからともなくしてくるのであるが、そのうち楽しくなって子供ははしゃいでくる民家の裏をこするように、身をよじらせて走り、別荘の門前で、私設の踏切りを越えて行く。　稲村ケ崎を過ぎると、太平洋の大海原が目前にひらけ、潮風を車内一杯に吸い込んで、磯の香りが充満する。

「ワァー、すてき、すてき」と子供はいっぺんに江ノ電のファンになる。

サア、この楽しい電車に乗ってみませんか。　一切符？　終点まで買っても120円ですよ。　出発進行!!



NAITO
JEANS SHOP
小樽店
☎22-3031
手稲店
☎683-5362

ROCK & POPS
プログレッシブな居酒屋
とーてむ
稲穂2－16－13
TEL 32-2924

INFORMATION
小樽の町を歩くときの生活情報

小さなことだけど聞いてみたかったんだ

ゴミ

読者のみんなもお気づきの事と思う。小樽の中のゴミ箱がすごく少ないのだ。これでは小樽を歩いている時にゴミも捨てられない。それにゴミ集収場所も町の美観をそこねている。そこで市に問い合わせてみた。市からは集収場所は町内会単位で指定している。ゴミ箱については、設置すると結局ゴミがたまってしまかねないので、清掃品ではおきていない。町内会まかせです。とのこと。これじゃ小樽の中がゴミ、ゴミしてしまう。観光都市を目指す小樽市にとっては、そこまでお思い品ではありません。

吸いがら

「路ハマナ禁止」守っていたスイカタ入れをこのごろあまり見かけなくなった。なぜ、どこへ行ったのか？　中央バスに聞いてみる。担当者からは、スイカタ入れは、導部品で中央バスのものではありません。なくなった所はイタズラで壊かされたりしたのでは？　しかし海に来陸の多い所にはスイカタ入れを設置しています。

バスを待ってる間、タバコを一服するのは、人の常。これしきバス停付近もリゴン、ヨゴレたな。心ある人で、バス停付近に住む人は清潔のスイカタ入れを守りて下さい。たのみます。

スポーツ少年団ならぬスポーツ青年団の登場

小樽の若者達が集まって、ゴキゲンなスポーツクラブを作ったって。作ったのは　田中良和君達4人で、名称は「ネイビーブルー・スポーツハウス」とゆうのです。仲間の一人である島垣君にちょっと質問してみました。

結成の動機は？

「誠技的なスポーツじゃなくて、エンジョイできるスポーツをめざしてるからですよ」

内容的にはどんなものを？

「各部門に担当のキャップをきめてそんなをみんなでやるのですか、毎日はダーチ、フットボール、カヌー、ウォスター、スケートボードなどです」

これからの目標は？

「色々なスポーツのエキスパートが入ってきて、一年後には全部のスポーツを各自各自でできるようになることです」

こんな面白そうなスポーツがあったらもしも君が興味なスポーツがあったらエキスパートとともに入会したら？

今回は、ちょっと変わった高校生を紹介してみようと思う。小樽のアマチュア活動の現場でも活躍する、一風変わった高校生。音楽部部員の下村実さんにいろいろ質問してみました。

ショパンとロックンロールに入っているから自分は、演奏者を目指す曲で、ショパンをはじめとしたピアノ曲、ロックの曲、歌謡曲、ポップスなどを演奏する。

高校の後夏休みの時、京都の実家に帰省して、そのフェスティバルに出演されて、音楽をとおして、学生の輪、家族の輪について、楽しく明るくもりあがりました。

現在のアマチュアクラシックを指いるのコンサートなどの音楽活動への参加は？

ファーストクラシックの音楽活動は、中学校の頃は、ちょうどいろいろ楽しくなったんだけれども、聞いているうちに夢中になっちゃって……　そんな感じで、活動をはじめた。

では、フォークソングについて？

今、人気のある岳山千春さんなんかは、歌は、愛や夢を伝えるために、メッセージを伝えるために、僕もフォークは好きだったし、男と女の関係なんかもとっても好きなものだし、そんなところを唄っていきたいし、唄っている人を好きだ。

小樽の街について？

「住みやすくていい。好きな人間が多いし、ただ、一度、いい、人くさい感覚のボールが欲しいな。それからのフォークだとか、ロックだとかのジャンルにこだわらないコンサートをやりたい。

今まで数々のシンガーを呼んでいる高校生たちは、これからもハロハロかんぱってもらいたいものだ。今日は日曜日。ホール百人コンサート、三日に、お寄せ歌コンサート、一日から三日にはお祭りだ。

この人は BIG 1じゃ

小樽市保育園
知恵を得ては、攻は体力の回復で、一般女と、人で、トンネルクリーンで汗を流そう　健康的で愛を育てるには最適です　何と健康的な愛の手さ？

小樽市立図書館
まず知識を得れば？　自分のレベルに合わせて読まなくっ　小生は図書館センターあったら　ワハハハハ!!

FIESTA GOODS

お金はないんだけど外に出たい　そんな人のために、ファミスタがあったよ。小樽ヒマツブシなのデートコーナー

市役所内食堂
体を動かした後は腹ごしらえを　安さ、一点おいしさ八点の食堂です　カレー、ライスにタバスコ、ワオー!!

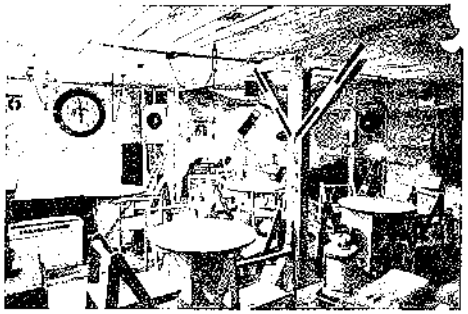
これからお先は君しだいなんだけど、ここまでは一人ニ二円もあればいいのだから、そして彼女、彼のいない君たちってけっこう楽しいはず　事実小生も一人でしたのタ　ガハハハハ!!　春だ!!金なんかなくたって楽しいデートはできるの証明でした

ゾロゾロ集まれ「ホイホイハウス」

ドッタッドコタ〜
コノコウジンマチ
イカッ

ワオ!!ヤ・タノ!!

ステキな



あのスクレ物のスローフタウンが店を閉じてから1ヶ月。あの店がグレートアップの「ホイ・ホイ・ハウス」となって満登場。噂を聞いてか探し求める客いっぱいで大騒ぎ。そこで編集部も取材にいったのであります。時は二月九日落成パーティー

表から見ますと、何とフハチになってキンキラキン、これはスゴイ変ったなと眺を踏らせて下アを押せばワッ!!ゼンゼン変ってないみたい、と思ったのがマチガイだったのですよ。色々なところにアイデアの山……山……。二九はいってみなけりゃわからないと思うけど、

まず色々なところがウェスタンスタイルになった事、ステージも落ちがかかったぞ!!　その上、料理がアッチッチのフライパンで出て来る。酒もほとんど全部そろってるし、安いのだ。

この店は、若い人達が共同でやっているのですが、マスターのモクラ君にチョッと聞いてみました。

「安いぞ!!　みんな来い!」と第一声、「週に一度くらいはライヴやパーティもやりたいのだ」と希望も、「女の子が来ればシアワセ」と最後に本音も出ました。

花園町　江差亭下小路
元スローフタウン跡

おしらせ

☆3月23日(金)に子猫が2匹生まれました。色は真黒で目はブルーです。どなたかもらってくれる方いませんか。

連絡先
TEL 34-1070

☆第4回
ふぁ〜くinどりーむ
300円
会場　どりーむ
出演者未定

街人流行まつり INFORMATION

第9回「若者のつどい」

テーマ　青春の日々　躍動の時
日時　4月7日(土)・4月8日(日)
18時より受付・19時より開催
参加費　一人　円
場所　北海道友愛山荘
(朝里川温泉終点)
対象　市内に住む青少男女　名限定
内容　青年大運動会、ゲーム、ディスカッション、歌、余興、ダンス その他
持物　洗面具、筆記用具、運動会用の服装、長ぐつ等

申し込み〆切　4月2日
申し込み・問合せ先
小樽市教育委員会社会教育課
(五十嵐　TEL32　4111)
小樽地方貯金局
(中村・近藤　TEL33　2211)

主催　小樽市青年団体協議会
後援　小樽市教育委員会

注　参加費・宿泊費は7日の夕食は含まず、8日の朝・昼食及び多少の飲食代を含みます

編集部より読者の皆様へ

あなたのまわりで、これはビックリしたコトとか、どうしても調べて欲しいコト、こんなアイデアもあるぞなどと言ったような事がありましたら、編集部へお知らせ下さい。　どんなハチャメチャクチャな事でもかまいません。あなたの町の話題が記事になります。採用させていただいた方には、記念品をさし上げます。

コンサート　ガイド

S.S.Cコンサート

とき　4月2日(月)
開場　PM 4:00
開演　PM 4:30
ところ　メリーズ・ヴィッシュ・マセット
きぶん　半250
やるひと
佐々木雅啓
斗野進悦
魔物
中谷洋子
園田和己
野堀重太郎
れんらく　野堀重太郎
(32)1690

本来ならば読者の声欄に載るのですが遠くからわざわざ出してくれたので特別あつかいなのです。

＊小樽の街と人々に感謝してしまった18歳の浪人男です。　市内かその近辺に住んでいる、中学か高校生の女の子手紙下さい。　メリー・ゴーランドのマスター、元気ですか？
〒一八二
東京都国分寺市西九町三の二五の三
宮田　保

音楽酒場
どり〜む
DREAM
花園3－6 昭和通り
TEL33－0892

毎月第3木旺日ライヴ唄長屋
音楽居酒屋
一匹長屋
花園3-3-3 (32)4049
毎夜9時　一匹みのるの三曲長屋

ANTIQUE
& HAND MADE
小樽市稲穂2丁目17番17号　☎34－0040
戯屋留堂

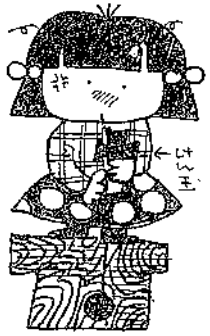
春の舞踏合宿「天然の美」合宿生募集
申し込み問い合せ
色内2・2・14グランカメリオ　0134　33　9337(高橋)

PICK UPS

パリパリせんべい スカ ラムネの味

全く今年の冬はどうなってるんダ！2月なのにホカホカの暖かい日か続いたり、3月に入って急に雪が降ったりと踊って喜べなくなったり……　なんて思いながら街を歩いていると、ナント背徳しい　「銭店屋」かこんな街の真ん中にあるとはないか！　なんとなく心ひかれて店の中へ

フッと昔の事を思い出して……
悪魔の暴れ悪たれ5人組と毎日ノ〜
三角ベースの野球で疲れた体をいやすために立ちよったあの店
あのオバちゃん今頃どうしてるだろう
店にはるやいなや　オバちゃん
とます第一声！
「ゴ円のラムネを木の棒みたいなやつでエイ！と気合いを入れて力一杯押しつける　ビー玉が下に落ちて泡がシュワーと出て来るところを、すかさず口にもって行く、ユカイミョク！　今じゃこのあの棒みたいなやつもプラスチックになっていて、80円以上もする
5円玉を出してタンを引く
東の中から酒瓶に、皮を抜き取り、青ごぼう、とそめる、するとそこに文字か浮でる　「スカ　とか　」等
なんと書いてあって、当たると直径30センチくらいの、何とも間ごたえのない、モンタともオレンジともつかない色の大きなハリハリせんべいがもらえる　他にも袋に入ったあづきの甘煎豆とか、黒砂糖のかたまりでハンタいたいなやつとか……
最近じゃそれもデパートで売っているとか、いないとか……



なんて思いながらふと我に返る
千世流から5〜6人、思い思いの野球帽をかぶり、ワイワイ、ガヤガヤ
「お前ノ　こっちの方がいいぞ」
「おう！　当りだ当りだ！
カッコイイー!!
今だにスハーカーゴーム」は終っていないのか、カウンクックやフェラーリ、ルシュルレなど、そんな写真か大きく出ているクジなんか多いようだ
他にはと目をやると「アッ！」と声を出してビックリ、なんとあの月光仮面のメガネがあるではないか
プラスチックの白いフレームに緑色のセルロイド……
今じゃ月光仮面を知っている子供なんて、まして、こんなメガネを買って行く子供なんてのもいないのか、壁にホコリにまみれてかかってるりました

そんな事を知っているのか知らないのか、このオジさんはなんでこの店に入って来るのかとても言いたそうな顔で私の顔をジロジロ見る子もいる
それでも私のまわりを遠慮しと行ったり来たり……　もう一回所に立っている事なんてとても不可能、早々と店を出る。

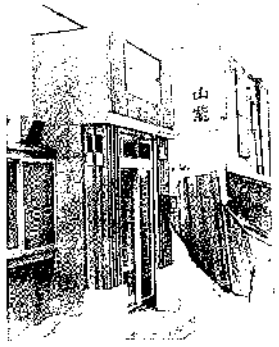
こうして思うと、今の子供たち、スーパーカーばっかりのワンパターン化されたおもちゃで満足しているのだろうか、なんて思ったりもする
昔の方がもっと自由で何かを想像していく楽しみがあって、ちょっとスリリングで、という気が不る
最近はいろいろと手つくりのおもちゃなんかが流行ってきている けれども、やっぱり原点は……「銭店屋」と言ってもいいんじゃないかな？

今度は小樽中の「銭店屋」を歩き回って、こんなおもしろいものがまだまたあるって、教えてやるのもいいんじゃないかな……

まち・みせ・あじ

レストラン『山紫』

今回は洋食と共に生きつづけて32年、何かのコマーシャルにでも出て来そうなんだけど、そんな言葉が一番あてはまるレストラン「山紫」をたずねてみました



マスターの三上さんは、この頃五十年という超ベテラン、小樽生れの生粋の小樽っ子で若い頃は東京で修業され昭和二十年に小樽にもどられたそうです　そして昭和三十一年に、ある人の進めで現在の店を始められたそうです
客層としては、昔に比べるのサラリーマン、またどちらかというと年配の方が多かったそうですが、近頃は学生、オフィスレディなどのヤング層もふえて来ているそうです　また酒を飲いてか、乳臭かったもかぎわざ食べにくるお客さんもいるとのこと

自慢の料理は「ブレイセ」という牛の煮込み料理で、これは牛のスネ肉を玉ネギ・ニンジン・セロリ・香草と共にシェリー酒にひたし、肉と野菜を取り出し別々にいためひたした汁で3時間煮込むという時間かかる料理なのです　味はまさに絶品!!そしてこれが何と、　円とは!!
「料理をする時に、特に気を配ることは」と聞いたら「あたりから知れませんが、味を大事にそしてつねに自分で酒習の行く味でお客様に出しています」と言う答がかえってきました　今のコックさんがみんなこうならと思います
一度本当に手のこんだ料理をあなたも味わってみませんか？

場所　市役所通り近くサバレー
営業時間　AM11時半〜PM9時

肉談直撃

ナ、ナ、ナ、オング！この雑誌は俺の貴重な睡眠時間を減らしやがって、と、思ったけれど、関けは悲しい編集部の苦労話：小樽の若者でこんなに情熱のある奴がいたなんて……これで350円なら安い、安すぎる：ふいえすた小樽の若者よ頑張れ！　影ながら応援しているぞ、
（中下運輸渉外）

＊

募集
優らしい女の娘・仕事に成功した編集部員をやさしく介抱してくれる優しい人、
（ふいえすた小樽編集部）

なんてヘンテコな雑誌なんダ！おもしろいし、おかしいし、くだらないし、ためになるし、マジな部分もあって汽車通の僕には、ピッつぶしにはもってこいなんだ。
でも3号出るのかナ…？　それから私書箱一号というのは本当なのか心配でたまりません。
（札幌市　武田和朗）

▲お答え▼
この本かる号です！
私書箱一号というのは正真正銘の本当です。

＊

創刊号に比べ、と言は読み物もふえて楽しく読ませていただきました。冬の小樽の写真がとってもよかったですよ。
（市内福穂　沢田佳子）

＊

まだまだこの雑誌は、編集部の内輪だけで作っている感じです。編集部員は募集していないのですか？
それからと号の中ではロシア珍道中がよかったですね
（西岡レジャーランド内　吉岡雅実）

▲お答え▼
編集部員を募集しています！
我こそと思わん者は、ドンドン来てクレヤ。

OTARU ishii
画材専門店
石井ガクブチ店
小樽市花園1 10－1 TEL 23・2492・32－4379

ホルモン 成吉思汗
三四郎
浮世通り PM11:00～AM6:00

ロック居酒屋
助六つか
OTARU SHI. HANAZONO. 0-0.
でんわ. 32. 2942.
BEER. 430.
DANBER. 3003. ちゃーム. 303

松花
はきもの
小樽市花園1丁目（国道沿） TEL (23) 5523

Martha & Tarna
20
MELODY-HOUSE
稲穂町1－9－11
TEL 23－7225

フジカラーチェーンラボ
FUJICOLOR CHAIN LABO
フジカラー
小樽現像所
▪かけがえのないカラー写真は！
純正仕上げのフジカラーチェーン店に

ちん呆
花園1~6~4
嵐山中央通
でんわ 32-4201

パブ ロキシー
コンパ、クラス会及び各会合
お引き受け致します
喫茶ブラジル2F Tel 32－7998
小樽市花園4丁目4番3号

HELLO! HENSHU KOKI

おそくなりました
許して下さい
3号デス

☆やっと雪も解けました
もう春はそこまで来ています。
春の足音を聞いたらお教えて下さい。
デンスケかついで録音しに行きます。
（編集部）

☆「3号いつ出るの？」
「うーん30日頃かな」
「次はいつ出るの……」
「4月10日ぐらいかな？」
聞けば答えるつどに発行日のずれて行くこの雑誌
これでいいのだろうか……
ゆっくりマイペースなんてのはかっこいい言い訳。
でも頑張ります 皆さん応援してチョーダイヨ！
（編集長こと滝沢です）

☆もうすぐ春ですねえ～
それは一昨年でした。
「春一番は掃除したてのサッシの窓で～」
これは昨年の春でした。
そして今年は
「春よ来い早く来い」
なんちゃって！春はすぐそこまで来ました。
「激的な春」になることを願ってこの3号を発行します。
（シサBON）

申し分けありません
この責任は僕にあります
すいません もうタンコブなどってください!!
ぶって！ぶって！
もっと、もっと強く！
編集部員の中で
もっとも悪いのヨ。
（DAX）

ふいえすた・小樽
—3号—

〈編集〉
天下善博 志佐公道
滝沢 裕 坂下晶夫
原田佳幸 村馬幸一
中たるみ 原田DAX

〈発行所〉
夢の街づくり実行委員会

〈発行責任者〉 原田佳幸

〈連絡先〉
喫茶 マッチ・ボックス
TEL 23－9805

〈宛先〉
〒047
小樽市中央郵便局
私書箱1号 宛

〈写真植字〉
広告のアンセン
小樽市入舟4丁目11番3号
TEL 34－1070

〈印刷所〉
米沢印刷紙業㈱
小樽市勝納町8番55号

ふいえすた・小樽　発行所　小樽夢の街づくり実行委員会　発行責任者／原田俊幸　写植／広告のアンセン　印刷所／米沢印刷紙業株